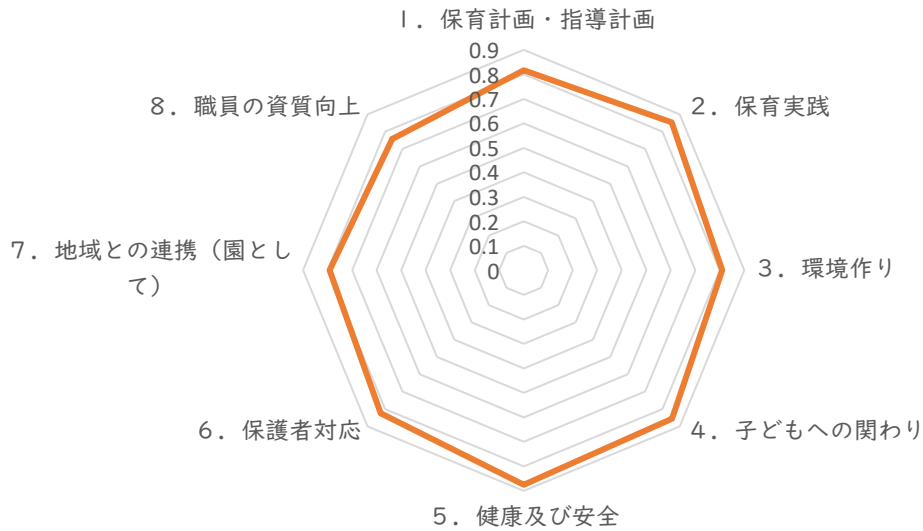


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。

片原一色保育園の自己評価



【総評】

・「子どもを尊重する保育」を意識し、食事や排せつの場面で担当保育士が子どもとの応答的な関わりを大切にする育児担当制や保育室の環境を整え、子ども達が自ら遊びを選び進めていく主体的な保育に取り組んできました。自己評価の結果として、2保育実践、3環境作り、4子どもへの関わりで職員の高い意識がみられました。地域との連携では、今年度はお散歩マップ作りに取り組み、散歩で見つけたものや遊んだものを写真に撮りマップに掲示した結果、子ども達にとって行き先が分かりやすい散歩コースになり、散歩をより楽しめるようになりました



食事の様子（育児担当制保育）

安心して食事ができるように、保育士がそばで見守ります。



遊びの様子（主体的保育）

どんぐりを並べて作ったケーキがいっぱいになったら、今度はケーキやさんに変身！



お散歩（地域とのつながり）

ハロウィンで、衣装した子ども達が子育て支援センターに行きました。

【今後の課題】

・職員の資質向上については、職員が連携・協力をして仕事を進めることに努めたが、積極的に研修に参加することができなかった。アーカイブ配信での受講や書籍等の学びを通じた職場内研修を充実させ、資質向上に努めていきたいと思ひます。

|